



連日の高温によりハダニ類・シンクイムシ類は多発傾向です。ハダニ類の被害が目立つ場合は、今回の散布を前倒す等の対策を講じてください。また、今後の曇天・降雨により黒斑病等の二次感染が心配されます。散布量はできるだけ多めに設定し、徒長枝や園の外周等によく飛散するようにしてください。

◆ 和梨の定期防除 (収穫前や収穫中の作物への飛散に十分注意してください。)

【有袋・無袋】 8月中下旬の薬剤散布 (前回より 15 日後)

| | | |
|-------|--|---------------|
| 散布時期 | 8 月 20 日～25 日 *注意事項① | ◆ 散布日 : 8 月 日 |
| 散布薬剤 | 水 100ℓ 展着剤 20ml コロマイト乳剤 100ml (前日、1回) キノンドーフロアブル 100ml (3日前、9回) *注意事項②、③ 劇イカズチWDG 66g (前日、3回) *注意事項④ | ◆ 散布量 ℓ/10a |
| 対象病害虫 | 黒斑病、輪紋病、ハダニ類、シンクイムシ類、カメムシ類 | |
| 散布量 | 10アール当たり : 450ℓ以上散布 | |
| 注意事項 | ① 早生種の幸水等に散布する場合は収穫前散布規制に注意する。 ② キノンドーフロアブルを使用する際は、容器の口を下に向けて横に回しながら上下に振り、容器内でよく溶かしてから SS 等のタンクへ投入すること。 ③ 無袋栽培で、果面の汚れが心配される場合は、キノンドーフロアブルに代えて、ナリアWDG 2000 倍 (前日、3回) でもよい。 ④ <u>イカズチWDGは劇物登録薬剤です。購入の際は印鑑をお持ちください。</u> ⑤ 薬液が樹の隅々まで到達するように、散布量は多めに設定する。また、過繁茂状態の場合は、薬剤散布前に徒長枝処理を行う。 | |

(参考) 有袋・無袋 9 月上中旬の薬剤散布予定 9/5～10 頃 (前回より 15 日後)

～ 和梨 8 月中下旬・9 月の重点栽培管理事項について ～

◆ 無袋栽培の防鳥・防蛾対策

- ✧ 鳥害は収穫 20 日前頃から多発します。特に香りのある幸水・南水は鳥害を受けやすいので注意してください。
- ✧ 防鳥ネットの点検。(破損箇所がないようにしましょう。)

◆ 雑草防除 (根元はいつもきれいにするように心掛けましょう！)

- ✧ 除草剤の使用法⇒10a 当り : 100～150ℓ、バスタ液剤 500ml (前日、3回)

◆ 日焼け果の除去は早めに！

無袋の上向き果を中心に日焼け果が多発しています。この日焼け果は、収穫時には果面が浅黒く、果肉が硬い果実 (石梨) になります。石梨は食味が悪いため、正品及び袋詰め規格にも入りませんので、早めに除去してください。

◆ 過度な夏季管理には注意！

高温・強日照が続いています。当面は必要以上に徒長枝切りを実施せず、日陰を多めに作り、園内の温度を下げてください。園地内温度が急激に上昇すると、土壌中の水分蒸散量が多くなり、日焼け果や果肉軟化を助長します。園地を極端に明るくし過ぎないように注意してください。

◆ 南水の玉肥大を促進しよう！

摘果が遅れた園では肥大が劣っています。南水の収穫まで残り 1 ヶ月です。成熟前の肥大促進のため定期的な灌水を施しましょう。1 回 10～15 mm 程度を目安としてください。